

されている。区役所による見直しが行われる前に、高齢者が新しいサービス決定を必要とする場合には、新たな申請を行わなければならない。

民間のサービス提供者がサービス決定に従ったサービスを提供しないなど、サービス提供者に対する不服がある場合には、高齢者は不服を区役所に提出することができる(資料 9: マリア・ガムラスタン区の不服申し立て用紙)。区役所は、不服申し立てを受けて、サービス提供者に対して改善を指導する。利用者は、サービス提供者の選択を変更することはできるが、業者を契約違反で訴えることはできない。このことから、高齢者福祉サービスの利用契約は区役所(コミュニティ)と利用者との間で締結されており、サービス提供者はあくまでコミュニティの履行補助者に過ぎないと、推測することができそうである。

(c) サービス提供中の事故に対する保障

医療サービスを提供している高齢者施設内での事故については、患者保険(Patientförsäkring)の適用がある。患者保険は、保健医療サービス中の損害に関する無過失責任保険であり、保健医療サービスの提供主体に加入が義務付けられている(Patientskadelag, SFS1996:799)。保健医療サービスの過程で損害を被った患者は、患者保険による補償を受けることができる。ストックホルム市は、民間の保険会社であるスカンディア(Skandia)との間で、患者保険の契約を締結している。

また、ストックホルム市は、民間の保険会社イフ(If..)と、コミュニティの活動を原因として生じた人的・物的損害に対する責任保険の契約を締結している。この保険によって、高齢者福祉サービス提供中に生じた、利用者の人的・物的損害が補償される。

以上のように、高齢者福祉サービスの提供過程における事故または損害に対しては、一応の補償制度が公的に整えられていると言える。ただし、サービス提供者による窃盗などの犯罪行為は、上記の保険制度では補償されず、問題となりうる。民間の保険会社でも、そのような場合は例外規定で補償から排除しているのが一般的であり、被害者は補償を受けられないことが多い。

③サービスの費用負担

既に述べたように、高齢者福祉サービスの費用は、大半がコミュニティ税によって賄われている。しかし、費用の一部は、利用者が負担する利用料および国家からの補助金によっても賄われている。

(i) スtockホルム市における利用料

2003年のストックホルム市における、高齢者福祉サービスの利用料について見ておきたい。

ストックホルム市では、ホームヘルプ・サービスおよびデイサービスの利用料は、利用者の所得と、サービスの量および回数に応じて額が定められている。また、ショートステイの利用料は、24時間のホームヘルプ・サービスに相当する額となっている。1ヶ月あたりの在宅サービス利用料の最高額は、その内容に応じて、以下のようにグループ分けされている(原語版は資料 10)。各グループごとに定められた額を上限として、利用者の所得

に応じて利用料が決定されるため、応益負担と応能負担の性格を併せ持っているといえよう。

グループ1：セキュリティーアラーム、または、サービスハウスの基本負担金：105kr

グループ2：食事配達、月2時間までのホームヘルプ：360kr

グループ3：週1・2回のホームヘルプ、週1・2回のデイサービス：660kr

グループ4：一週間に平日日中3～5回のホームヘルプ、一週間に平日3～5回のデイサービス：880kr

グループ5：週7日の日中および／または祝日を含む夜間のホームヘルプ、週6～7日のデイサービス：1215kr

グループ6：自宅またはサービスハウスでの週7日24時間のホームヘルプ、ショートステイ、および24時間介護施設への入居：1575kr

施設サービスの利用者負担は、月1575krを限度とした応能負担である。施設入居者はその他に、食費として月2405krを負担し、さらに室料（ホテル代）を支払わなければならない。

社会サービス法8章6条による留保額は、2003年のストックホルム・コミュニオンでは、以下の通りであった。在宅サービス利用者の留保額は、単身者について月4249kr、配偶者と同居する者について月3677kr（したがって、夫婦合わせて月7354kr）である。施設サービス利用者の保障生活費は、施設居住者について月2820kr、自宅に残されている配偶者について月4249krであった。

(b) 民間サービス提供者への支払

高齢者福祉サービスの提供に携わる民間業者に対しては、ストックホルム市では、サービス決定で定められたサービスの提供時間に応じた定額を支払っている（資料11：ホームヘルプ・サービスに関する支払金額表¹³⁴）。民間業者が、サービス決定にはないサービスを提供しようとしても、ストックホルム市からはそのサービスにかかる費用は支給されない。そのため、このような支払方法は、民間業者によるサービス決定の遵守を図る一つの手段となっている。

④ストックホルム市での現在の問題

ストックホルム市の高齢者福祉サービスに関して現在議論されている、最大の問題は、社会的孤独である。ホームヘルパーは通ってきても、親戚や友人が身の回りにいない高齢者の、孤独が問題となっている。ストックホルムは都市であるため、地方社会と比べて地域のネットワークにかけることが、問題性を深めている。

また、マリア・ガムラスタン区では、サービスハウスが多すぎることも問題視されている。多くの高齢者が、エレベーターの設置など改築を行えば自宅で居住し続けられるにも

¹³⁴ 1頁目のタイムテーブル（Tidtabell）で定められたサービス単位ごとの標準時間に基づいて、一ヶ月の合計サービス時間を算出し、2頁目のリストで定められた金額を支払う。例えば、「総合的な朝の介護」（着替え、トイレ、ベッドメイキング、歯磨き、シャワーなど）にかかる標準時間は、45分とされている。

かかわらず、サービスハウスに容易に入居してしまっている。そして、いったんサービスハウスに入居すると、自宅を失い、自宅での生活に戻れなくなってしまう。この問題の背景には、マリア・ガムラスタン区を中心部が旧市街であり、建物の改築工事が困難だという事情もあるだろう。

3 ルンド市における高齢者福祉サービスの決定・提供過程

以下では、スウェーデンにおける福祉サービスの決定・提供過程のもう一つの例として、ルンド市の高齢者福祉サービスの提供過程について、聞き取り調査の結果をまとめることとする。

ルンド市は、スウェーデン南部の都市である。2004年1月1日の時点の人口は100,995人であり、スウェーデンのコミュンの中では12位に位置する¹³⁵。今日、人口の12.6%が65歳以上高齢者となっている。全国的な傾向に従い、今後、ルンド市でも高齢者数が増加すると見込まれている¹³⁶。

(1) 高齢者福祉に関わる行政組織

ルンド市では、高齢者福祉および知的障害者のための福祉を管轄する行政機関として、介護・看護委員会 (Vård och omsorgsnämnden) を設置している。介護・看護委員会の下に、実際の行政執行にあたる機関として、介護・看護行政局 (Vård och omsorgsförvaltningen) がある。看護・介護行政局は、一人の運営チーフ (Förvaltningschef)、3名のMAS (医学的責任を持つ看護師)、ソーシャルワーカーの判定課 (Beställarenheten) から構成される (資料12)。MASのうち、2名は在宅看護を、残り1名は痴呆症者の介護を専門的に担当している。

個人に対する介護・看護サービスの提供を決定するのは、判定課 (Beställarenheten) である。判定課は、組織のチーフ (Ledning Administration) の下、施設入居コーディネーター (Platssamordning)、援助に関する権限行使機関 (Biståndshandläggning Myndighetsutövning)、および入院高齢者のための特別チーム (Samordnad Vårdplanering) の三部門から構成される (資料13)。施設入居コーディネーターは1名のソーシャルワーカーで、福祉施設の空室と待機リストを管理する。援助に関する権限行使機関は、12名のソーシャルワーカーから構成され、援助を必要とする者に対してホームヘルプ・サービスの利用と福祉施設への入居を決定する。入院高齢者のための特別チームは、ソーシャルワーカーと看護婦で構成されており、ルンド大学病院に駐在している。入院している高齢者の社会サービスについては、この特別チームが一次的判断を行い、1、2週間後に援助に関する権限行使機関が長期的・正式な判断を下す。

判定課は、ルンド市全域について、介護・看護サービスの決定を担当する。一人のソーシャルワーカーが、約100から150人の高齢者を担当している。

(2) 高齢者福祉サービスの提供体制

ルンドでは、市内を、北・南・東の3つのサービス圏 (Verksamhetsområde) に分割している。南サービス圏の場合、圏内に6つのホームヘルプ・サービス提供センターと、8軒のサービスおよび介護のための特別な住宅が存在する (資料14)。

¹³⁵ Statistiska centralbyrån, Statistisk Årsbok 2005, 2004, s 85.

¹³⁶ Lund Vård och omsorgsnämnden, Plan för stöd, service och omvårdnad 2004-2005, s 8.

現地調査で訪問した Österbo 老人ホームは、南サービス圏に所属する痴呆症高齢者用の施設である。同ホームは、1960年代に建設され、1997年に改築された。建物は7階建てで、1フロアごとに定員6名のグループホームを構成する。すなわち、グループホームの集合体として施設が構成されているといえよう。入居者は合計53名で、うち33名が痴呆症、11名が健康だが一人暮らしは不安になった高齢者、残り9名が医学的看護の必要な高齢者である。

Österbo 老人ホームはルンド市の公設公営の施設である。ルンド市では、在宅サービスの提供者は全て公営であり、施設サービスについても民間の施設は2箇所しかない。ルンド市は、スウェーデンの他の地域に比べても、社会サービスの民間委託の割合が小さいといえる。これは、ルンド市の政策が、公的サービスを志向しているためである。

ルンド市での近年の施設サービスは、地方高齢者の増加への対応としての色彩を強める傾向にあると指摘される。ルンド市内で最初のグループホームは、1991年に設置され、定員は8名であった。次いで、1997年に定員6名のグループホームが、2002年12月には定員9名のグループホームが2軒設立されている。

(3) ルンド市における高齢者福祉サービスの決定・提供過程

①申請からサービス決定

(a) サービスの申請

社会サービスを必要とする高齢者は、書面や電話でルンド市の判定課（ソーシャルワーカー）にサービスの利用を申請する。親族が代わりに申請することも多い。

(b) サービスの決定

(i) サービスの申請があると、判定課のソーシャルワーカーが自宅へ（入院している場合は病院へ）訪問する。本人との面談調査によって、社会サービスに対するニーズを判断する。この面談調査には、医学的判断のために看護師も同行する。1日に一人のソーシャルワーカーが行う面談調査は、約3、4件である。判定課は、提供するサービスを決定して高齢者に通知する。高齢者は、この通知を受けて、サービス提供者と連絡を取る。

他のコミュニンに在住する者からルンド市内の福祉施設への入居の申請があった場合は、原則として、当該個人が現在居住するコミュニンへソーシャルワーカーが出張して面談調査を行う。ただし、遠方の場合は、現地のソーシャルワーカーや医師から書類や電話で情報提供を受けることによって、面談調査に代える。ルンド市外からのサービス利用申請であっても、ルンド市民と同じ基準でサービスのニーズを判定する。差別的取扱いは、社会サービス法（SoL）上許されていないためである。

サービスの提供決定は、1、2年ごとに、高齢者のニーズを再度チェックして見直す。サービス提供者から状況の変化について連絡を受けることにより、より頻繁に決定を見直す場合もある。

(ii) ルンド市（判定課）から高齢者に送付される社会サービスの決定通知が、社会サービス利用契約の契約書となる。

高齢者とサービス提供者の間では、どのようなサービスをいつ提供するかという、サービスの具体的内容に関する書類は作成される。ただし、これはあくまで、法的な契約書と

はならない。高齢者個人は、サービス提供者との間では、契約を締結することはない。

(c) サービス決定過程における利用者保護

意思能力が低下している高齢者をサービス決定過程において保護するために、1 (5) で述べた利用者保護制度が利用されている。

(i) *god man*

高齢者本人の意思能力が低下しているとき、多くの場合は、親族が社会サービスの申請を代行する。しかし、親族関係が良くないなどの事情がある場合は、*god man* を任命する必要がある。高齢者本人からの申請で良いか、親族からの申請を信用できるかなどは、本人の状態、親族関係などを総合的に見て、判定課のソーシャルワーカーが個別に判断する。なお、この判断内容は、証拠として書面にしている。

既に述べたとおり、*god man* は、財産管理や権限行使を後見する制度である。社会サービスの利用の場面では、社会サービスの申請も *god man* が代行する。*God man* は、本人または家族、近親者からの申請に基づき、地方裁判所が任命する。医療施設・高齢者施設の代表者、またはコミュニティの社会サービスが、*god man* の任命を申請することもできる。ルンド市では一般に、ソーシャルワーカーが *god man* の候補者を推薦し、コミュニティの後見制度委員会 (*över förmyndare nämnden*) から裁判所に任命を申請している。

ルンド市では、地方高齢者の増加に伴い、*god man* 制度の利用件数が増加している。

(ii) *förvaltare*

利用者保護のための第二の制度として、*förvaltare* がある。しかし、*förvaltare* の任命を受けた場合、利用者本人は、法律に列挙された事項以外は、*förvaltare* の同意なく法律行為を行うことができない。この制度は、法律行為を行う権限の大半を委譲するため、非常に介入的な制度であり、ルンド市内でも利用は稀である。

(d) サービス決定に対する不服申し立て

コミュニティが行ったサービス決定に不服がある場合、申請者は、1 (7) で述べた行政不服総称を提起することができる。

まず、申請者は、コミュニティに対して決定に対する不服を申し立てる。不服申し立ては、サービス決定から3週間以内に行わなければならない。不服申し立てがあると、判定課のソーシャルワーカーは、新しい事情があるかどうかを再調査する。サービス決定を理由付ける新しい事情が判明すれば、判定課はサービス決定の見直しを行う。

コミュニティの再調査によって、サービス決定の見直しを理由付けるような理由が判明しなかった場合、コミュニティは不服を地方行政裁判所へ送付する。ルンド市では、サービス決定に対する不服が申し立てられてもコミュニティの段階で見直されることは少なく、多くが法廷に持ち込まれている。スウェーデンの行政裁判所は、上述のように三審制であるが、ルンド市での社会サービス決定にかかる争いは多くが地方行政裁判所の判決で終了する。地方行政裁判所のレベルでは多くの場合に申請者側が勝訴するが、控訴には費用と時間が掛かるため、市側が控訴を諦めて地裁判決を受け入れているためである。

サービス決定に関する不服申し立ての件数は、非常に少ない。これは、ルンド市では、高齢者福祉サービスの決定について肯定的判断が多いためである。とりわけホームヘル

プ・サービスの利用申請については、約 9 割が肯定的判断となっている。

なお、ルンド市では、高齢者福祉に関するオンブズマン制度は設けていない。

②サービスの提供

(a) サービス提供業者の選択の可否

在宅サービスについては、上述のとおり、ルンド市の在宅サービス提供者はすべて公営である。どのサービス提供者を利用するかは、利用者の居住地（サービス圏）によって決まる。すなわち、利用者側にサービス提供者を選択する自由はない。

施設サービスの場合は、施設に空室ができると、施設入居コーディネーター（*platssamordning*）が利用希望者に入居を割り当てる。申請者は割り当てられた施設への入居を拒否することはできるが、入居施設を積極的に選択することはできない。

実際には、高齢者が自身の住んでいる地域に留まりたいと希望することが多い。そのような場合、コミューン側は居住地の施設の空室を提供できるように努力するが、必ずしも希望にそえないことも多い。上述のように、高齢者は、自身の希望する地域の施設ではないことを理由に、割り当てられた施設への入居を拒否することができる。入居拒否があると、多くの場合、ルンド市は、入居に応じてもらえるよう当該高齢者を説得している。どうしても応じてもらえない場合は、当該高齢者は一度待機リストから外れ、サービスを再申請することとなる。また、希望地域の施設を割り当てられなかった場合、高齢者は、割り当てられた施設にいったん入居し、後日、希望する地域に空室ができたなら移ることも可能である。しかし、ルンド市内のどの福祉施設でも同じサービスを提供しているため、入居さえすれば高齢者に満足してもらえることが多い。したがって、高齢者が入居後に施設を移転することは稀である。

ルンド市には民間の高齢者福祉施設が 2 軒（身体的疾病のためのナーシングホーム 1 軒、痴呆症のナーシングホーム 1 軒）あるが、これらの民間サービス業者であっても、利用者を選別することはできない。民間施設であっても公営施設と同様に、コミューンによる空室割り当てに基づいて、利用者を受け入れなければならない。

施設サービスの空室の割り当ては、待機リストの上位者から順に行われる。ルンド市全体で一つの待機リストを作っている。市内には高齢者福祉施設が多く設置されているので、待機リストはそれほど長いものではない。原則として、施設サービスの利用を申請した後、3 ヶ月以内には入居することができる。現在、ルンド市内の高齢者福祉施設を合わせると約 1000 室あり、うち 200 室が痴呆高齢者向けとなっている。

(b) サービス内容への不服

高齢者福祉サービスの利用者が、サービス提供者が行うサービスの内容に不服を有する場合は、以下の 3 つの方法で不服を訴えることができる。

- ① サービス提供者と交わしたサービス内容を定める書面に基づき、サービス提供者に直接抗議する
- ② ルンド市に不服を申し立てる
- ③ レーン執行機関（*Länstyrelsen*）に不服を申し立てる

①のサービス提供者に対する抗議は、あくまで事実上のものであると考えられる。②の

場合は、ルンド市がサービス提供者にサービスの改善を指導する。また、③の場合は、中立の立場からレーン執行機関が問題を判断する。レーン執行機関への不服申し立ては判断の中立性という点で優れているが、実際には稀である。

サービス内容に関する不服の件数は、サービス決定に関するものよりは多いが、やはり少ない。このことから、ルンド市が一般に良質な高齢者福祉サービスを提供していると評価できよう。

③サービスの費用負担

既に述べたように、高齢者福祉サービスの費用は、大半がコミュン税によって賄われている。特にルンド市の場合は、高齢者福祉サービスの提供がほぼ全て公営の事業として行われているため、民間サービス事業者に対する費用支払の問題は生じない。

サービスにかかる費用の一部は、利用者が負担する利用料および国家からの補助金によっても賄われている。以下では、ルンド市における利用者負担について見ることにする。

(i) 一般的原則

高齢者福祉サービスを利用する際の利用料は、利用するサービスの内容および高齢者の経済的状況によって決まる。すなわち、ルンド市の高齢者福祉サービスの利用料は、応益負担と応能負担の性格を併せ持つといえる。

高齢者の収入から、税金、住居費（住宅手当を除く）および留保額を除いた額が、利用料を課す対象所得となる。利用料賦課の対象所得が利用料の額を下回る場合、ルンド市がその不足分の費用を負担する¹³⁷。

ルンド市では、留保額として、社会サービス法（SoL）による法定額よりも高い額を設定している。具体的な留保額は、個人の年齢、社会的状態、子供の有無、居住状況などによって異なる¹³⁸。

1ヶ月当りの利用料の上限は、社会サービス法（SoL）により、物価基礎額の48%の12分の1である。なお、通常の個人的支出に含まれないような特別の出費（病気、障害、出産、大きな歯科治療など）があった場合は、申請に基づき、利用料が減額される。

利用料算定および決定は、介護・看護行政局が行う。利用料算定に必要な情報を提供しなかった者は、最高額の利用料を徴収される。利用料の決定に不服がある者は、行政不服訴訟（förvaltningsbesvär）によって地方行政裁判所に提訴することができる。

(ii) ホームヘルプ・サービスの利用料¹³⁹

ホームヘルプ・サービスの利用料は、サービスの程度（4段階）ごとに、利用者の所得に比例した額が算定される。ただし、上述したように、物価基礎額の48%の12分の1が、1ヶ月に負担する利用料の上限となる。

例えば、利用するホームヘルプ・サービスがサービスレベル 1（1ヶ月の介護時間が 1

¹³⁷ Lund, AVGIFTER inom äldre- och handikappomsorg, s 3-6ff.

¹³⁸ Lund, AVGIFTER inom äldre- och handikappomsorg, s 8.

¹³⁹ Lund, AVGIFTER inom äldre- och handikappomsorg, s 9f.

～9間)である場合、利用料賦課対象所得の60%を利用料として負担する。ただし、このサービスレベルにおける利用料の上限は、1ヵ月あたり、物価基礎額の30%の12分の1(2004年は982kr)である。また、最重度であるサービスレベル4(1ヶ月の介護時間が120時間以上)のホームヘルプ・サービスを受ける場合、利用料賦課対象所得の100%が利用料として徴収される。ただし、このサービスレベルでは、物価基礎額の48%の12分の1(同1572kr)が、1ヶ月当たり利用料の上限となる(資料15参照)。

利用料の算定にあたり、地方自治法(KL)上の原則により、利用料の額がコミュニティに生じた費用を超えてはならない。介護量が小さく、利用料賦課対象所得が大きい場合、上述した方法に基づいて利用料を算定すると、この原則に反する場合が生じる。そのような場合、介護・看護行政局は、利用料をコミュニティの実費まで減額する。

高齢者が、ホームヘルプ・サービスの他にも、デイサービス、ショートステイ、給食サービス、在宅看護など、在宅サービスを複数種類受ける場合は、原則として各サービスにかかる利用料の合計額を負担する。ただし、社会サービス法(SoL)が定める上限(物価基礎額の48%)を超える利用料は負担しない。

(iii) 施設サービスの利用料¹⁴⁰

高齢者が「サービスおよび介護のための特別な住宅」に入居した場合、施設内で提供される介護について、当該高齢者はホームヘルプ・サービスの利用料を負担しなければならない。施設に入居した高齢者は、(ii)で述べたサービスレベル4のホームヘルプ・サービス利用料を負担する。これにより、1ヶ月当たりのサービス量・介護時間を確定することなく、ニーズに応じて継続的なサービスおよび介護を受けることができる。

施設に入居する場合、高齢者は、ホームヘルプ・サービスの利用料の他に、食費および居住費(ホテルコスト)を支払う。食費は、他の利用者と同じ時間に食事を取る場合は、食事の種類または居住地域に関わらず、同額の食費を負担する。居住費は定額であり、同じ水準の施設に入居する場合は、居住地域に関わらず同額である。

4 終わりに

スウェーデンに関する調査報告の終わりに、若干の考察を述べておきたい。

スウェーデンでは、社会サービス法(SoL)上、コミュニティが社会サービスの提供責任を負っている。この点は、日本の従前の措置制度と共通する点であるといえよう。

実際のサービスの提供は、コミュニティ以外の主体に委ねることが、法律上明文をもって認められている。事業の委託を受けるコミュニティ以外の主体は、従来、コミュニティの公社、コミュニティが資本の一部を出資した会社などが中心であった。しかし、近年のスウェーデンでは、民間事業者へのサービス提供の委託も増加している。

社会サービスについて、社会サービス法(SoL)は枠組みを定めるに留まり、詳細を地方自治体(コミュニティ)の裁量に委ねている。現地調査に訪れたストックホルム市とルンド市の概況の比較から、コミュニティによって社会サービスの提供体制に大きな違いが存在することが明らかである。ストックホルム市では、サービス提供の民間委託が積極的に働

¹⁴⁰ Lund, AVGIFTER inom äldre- och handikappomsorg, s 13f

められている。また、在宅サービスについては、利用者が自由にサービス提供者を選択することができる。これに対し、ルンド市の場合、高齢者福祉サービスはコミュニティの直営事業となっている。ルンド市ではパブリックサービスに対する志向が強く、いわばスウェーデンの古典的・伝統的な社会福祉制度を維持しているといえるだろう。

福祉サービス利用契約についてみると、現地調査で訪問した二つのコミュニティでは、いずれも、サービス決定を行ったコミュニティと利用者個人との間に契約関係が発生すると理解されていた。すなわち、コミュニティによるサービス決定通知が、高齢者サービスの利用契約書となると解する。このことは、コミュニティに社会サービス提供責任を負わせ、個人にはコミュニティ（社会福祉委員会）に対する社会サービス請求権を与えている、社会サービス法（SoL）の構造にも合致する。一方、サービス提供者がコミュニティとは別の主体であっても、サービス提供者と利用者個人との間にはなんらの契約関係も発生しないと解されている。そのため、サービス提供過程で生じたサービス内容に対する不服について、利用者は、法的にはコミュニティに対してサービス利用契約上の責任を追及することとなる。

以上のようなスウェーデンの福祉サービス利用契約を仮に日本法に当てはめるならば、以下のように解することができるだろう。すなわち、利用者とコミュニティの間の福祉サービス利用契約において、サービス提供者はコミュニティの履行補助者と位置づけられるだろう。また、コミュニティとサービス提供者の間では、利用者を受益者とする「第三者のためにする契約」として、サービス提供の委託契約が締結されていると考えることができよう。

しかし、スウェーデンの福祉サービス利用契約を日本の契約法制に置き換えるには、より慎重な検討が必要である。すなわち、社会サービス法に基づくコミュニティのサービス決定は、スウェーデン行政法では行政決定（förvaltningsbeslut）にあたる。この行政決定の性質および効果、スウェーデンの行政決定と日本法の行政行為の相違点、行政決定によって契約関係を発生させることがスウェーデン行政法上一般に認められているのか、スウェーデンにおける行政契約と私法上の契約の差異などが、今後に残された検討課題である。

Socialförsäkring och social omsorg

165

Personer¹ 65- år med hemtjänst efter kön 1990-2001
Persons 65- years with home-help service by sex

	Personer				% av befolkningen			
	1990	1995	2000	2001	1990	1995	2000	2001
Män	4 018	3 993	4 050	4 137	7,7	8,2	9,1	9,4
65-69 år	434	379	281	265	2,6	3,0	2,4	2,5
70-74	565	628	474	502	3,8	4,5	4,5	4,9
75-79	860	831	815	812	8,1	7,5	7,6	7,9
80-84	1 070	995	1 010	1 108	18,8	14,5	13,4	14,2
85-89	765	783	855	927	29,5	25,0	26,8	25,0
90-	324	377	535	523	42,5	35,5	41,3	39,3
Kvinnor	12 935	11 618	11 550	11 706	14,3	13,7	15,1	15,6
65-69 år	635	475	396	384	2,9	2,8	2,8	2,9
70-74	1 205	895	828	784	5,8	5,0	5,4	5,3
75-79	2 395	1 820	1 773	1 695	12,5	8,8	10,3	10,3
80-84	3 718	2 938	2 830	2 985	24,1	19,9	19,4	20,1
85-89	3 301	3 378	3 212	3 243	38,5	34,4	33,2	34,1
90-	1 681	2 016	2 511	2 615	46,0	43,0	43,2	44,1
Samtliga	16 953	15 611	15 600	15 843	11,9	11,7	12,9	13,3
65-69 år	1 069	854	657	649	2,7	2,9	2,7	2,7
70-74	1 770	1 823	1 302	1 288	4,9	4,8	5,0	5,2
75-79	3 255	2 651	2 568	2 507	10,9	9,0	9,2	9,4
80-84	4 788	3 931	3 840	4 093	22,0	18,2	17,4	18,0
85-89	4 086	4 159	4 167	4 170	37,1	32,1	31,4	31,5
90-	2 005	2 393	3 048	3 138	45,4	41,7	42,9	43,2

Anm. Uppgifterna för 1990 avser november, för 1995, 2000 och 2001 avses oktober.
¹Antalet personer överskattas med cirka 5 % p g a att medsökande själv kan ha personlig omsorg.

Stadsdelsområden

259

Inskrivna förskolebarn vid förskola och familjedaghem/flerfamiljssystem och inskrivna skolbarn vid fritidshem och familjedaghem/flerfamiljssystem 2001-12-31
Number of children in day nurseries, family day-homes and recreation centres

	Inskrivna i kommunal verksamhet		% av befolkningen	
	Förskolebarn 1-5 år	Skolbarn 6-12 år	Förskolebarn 1-5 år	Skolbarn 6-12 år
Västerort	7 793	8 420	57,9	42,8
Kista	1 211	1 087	59,5	37,8
Rinkeby	990	593	56,4	31,9
Spånga-Tensta	1 854	1 486	63,4	37,3
Hässelby-Vällingby	1 802	2 748	54,8	47,9
Bromma	1 926	2 508	56,1	48,8
Inre staden	4 863	5 020	46,5	37,2
Kungsholmen	987	786	54,5	44,2
Norrmalm	1 051	1 118	44,0	40,7
Östermalm	1 189	748	50,2	24,2
Maria-Gamla stan	899	1 349	39,4	35,8
Katarina-Sofia	777	1 011	48,8	49,5
Söderort	9 380	9 698	64,0	41,5
Enskede-Årsta	1 553	1 504	63,3	43,5
Skarpnäck	1 392	1 598	63,4	43,7
Farsta	1 450	1 379	64,8	38,8
Vantör	1 063	1 324	58,0	45,2
Älvsjö	911	1 183	70,8	53,3
Liljeholmen	870	535	64,2	30,2
Hägersten	816	1 133	67,2	48,9
Skärholmen	1 225	1 034	63,7	32,0
Hela staden	22 126	23 271	57,1	41,2

Anm. Se även tabell 258. - ¹Ingår 133 stockholmsbarn med plats i annan kommun.

260

Personer¹ 65- år med hemtjänst oktober 2001
Persons 65- years with home-help service

	Personer			% av befolkningen		
	65-79 år	80- år	Samt- liga	65-79 år	80- år	Samt- liga
Västerort	1 161	2 357	3 518	6,4	26,9	13,1
Kista	258	311	569	12,8	39,4	20,2
Rinkeby	87	31	93	9,3	17,9	11,0
Spånga-Tensta	156	250	406	5,8	26,6	11,3
Hässelby-Vällingby	408	727	1 135	5,6	24,3	11,1
Bromma	272	1 038	1 310	5,0	28,8	14,0
Inre staden	1 522	4 724	6 246	5,9	26,9	14,8
Kungsholmen	290	1 046	1 338	8,0	28,0	15,8
Norrmalm	292	699	1 191	5,9	28,6	14,7
Östermalm	337	1 215	1 552	5,0	23,8	13,1
Maria-Gamla stan	403	1 074	1 477	6,7	29,4	15,3
Katarina-Sofia	200	480	690	5,8	25,3	13,0
Söderort	1 758	4 320	6 078	5,6	25,7	12,5
Enskede-Årsta	262	846	1 108	5,8	25,1	14,1
Skarpnäck	248	586	812	6,7	26,2	13,9
Farsta	323	734	1 057	4,8	24,1	10,8
Vantör	231	476	707	4,9	24,4	10,7
Älvsjö	82	334	416	3,9	25,5	12,2
Liljeholmen	165	487	652	6,7	29,9	16,0
Hägersten	218	572	788	5,9	28,3	13,5
Skärholmen	234	305	539	6,1	25,7	10,8
Hela staden	4 442	11 401	15 843	5,8	26,4	13,3

¹Antalet personer överskattas med cirka 5 % p g a ett medsökande själv kan ha personlig omsorg.



資料 2 (1)

UTREDNING om
 ÄLDREOMSORG
 HANDIKAPPOMSORG

(enligt socialtjänstlagen)

Utredning

Adress Torkelsgatan 19 B ██████████		Telefonnummer ██████████
Namn, make/sammanboende		Personnummer
Namn Gunnar ██████████	<input type="checkbox"/> Anhörig <input checked="" type="checkbox"/> God man <input type="checkbox"/> Omb/företr	Telefonnummer, bostad ██████████
Gatuadress, postnr oc ort		Telefonnummer, arbete
Namn	<input type="checkbox"/> Anhörig <input type="checkbox"/> God man <input type="checkbox"/> Omb/företr	Telefonnummer, bostad
Gatuadress, postnr oc ort		Telefonnummer, arbete

Utredning, sammanfattning och bedömning

Ansökan avser

Särskild boendeform –servicehus

Aktuell situation

Sven ██████████ (S.L.) bor i Uppsala. Han bor i servicehus sedan 1999. S.L. ansöker om att få komma till ett servicehus i Stockholm, Maria Gamla stan stadsdel där han har sin vän –och bekantskapskrets. Där han har varit bosatt stor del av sitt yrkesverksamma liv och varit verksam som kulturskribent och författare.

S.L. har hemhjälpinsatser i form av daglig tillsyn, medicin, kosthållning, tvätt och städning.

S.L. går ut och sköter sina inköp själv. Han har trygghetslarm –det ingår i servicehusboendet.

Social situation

S.L. är ensamstående. Han har inga egna barn. Han har två syskon . Den ena bor i Västerås och den andra i Göteborg.

S.L. är fortfarande aktiv som kulturskribent

S.L. har enligt uppgift blivit gladare och piggare under den senaste tiden. Han har återupptagit kontakten med sina vänner i stockholm via telefon och de har kommit och hälsat på honom.

Behovsbedömning

S.L. har inte ett stort och omfattande omvårdnadsbehov och har därför inte behov av att komma till ett servicehus som boendeform

Kommunicering Kopia i rek. brev med besvärshandling	Handläggare 020712
Datum och underskrift	Datum och underskrift




BESLUT om

ÄLDREOMSORG

HANDIKAPPOMSORG

(enligt socialtjänstlagen)

Beslut

Adress Tor kelsgatan 19 B ██████████		Telefonnummer ██████████
Namn, make/sammanboende		Personnummer ██████████
BESLUT och motivering		
Ansökan om bostad på servicehus avslås enligt 2 kap.3§ Socialtjänstlagen. Sven ██████████ har inte sånt behov av omfattande vård och omsorgsinsatser som är en förutsättning för rätt till insats enligt Socialtjänstlagen kap.2 3§ Behovet av hjälp kan tillgodoses i den nuvarande bostaden.		
<input type="checkbox"/> Avgift för insatsen i avgiftsgrupp		
Detta beslut kan komma att omprövas om det sker väsentliga förändringar i de förhållanden som legat till grund för beslutet. Det kan ha till följd att den beslutade insatsen minskas eller dras in helt.		
Delgivning Kopia till R.E.C. över med brevväns hänvisning	Beslutande tjänsteman	
Datum	Underskrift	020712 Datum Underskrift 
Om Ni inte är nöjd med beslutet, kan Ni överklaga det. Hur man gör framgår av blanketten "Hur man överklagar", SoT 7515.	Biståndshandl Titel	Agneta Biol Namnförtydligande



Ekman, [REDACTED]

[REDACTED]

UTREDNING om

- ÄLDREOMSORG
 HANDIKAPPOMSORG

(enligt socialfjänstlagen)

Utredning

Adress Blekingeg 15 B, [REDACTED]	Telefonnummer [REDACTED]
Namn, make/sammanboende	Personnummer
Namn [REDACTED] <input checked="" type="checkbox"/> Anhörig <input type="checkbox"/> God man <input type="checkbox"/> Omb/företr	Telefonnummer, bostad [REDACTED]
Gatuadress, postnr oc ort	Telefonnummer, arbete
Namn <input type="checkbox"/> Anhörig <input type="checkbox"/> God man <input type="checkbox"/> Omb/företr	Telefonnummer, bostad
Gatuadress, postnr oc ort	Telefonnummer, arbete

Utredning, sammanfattning och bedömning

Ansökan avser
Äldreboende med dygnet runtomsorg.

Social situation
[REDACTED] Ekman är ensamboende. Hon är änka, har inga barn. Hon har tät kontakt med sin släkting Cristina. Hon har haft daglig hemhjälp och trygghetslarm sedan hon drabbades av en stroke sömmaren-01. Har även hemsjukvård.

Hälsotillstånd
Stroke-01, påverkad talförmåga. Nedsatt balans. Gått med rollator. Har ramlat vid flertal tillfällen och varit inlagd ett antal gånger på sjukhus. Minnessvikt. Inkontinent. Förmaksflimmer och hjärtsvikt.

Aktuell situation
Hennes hemsituation har inte varit tillfredställande sista tiden då hon blivit alltmera desorienterad, ringt på grannars dörrar, ibland inte vetat var hon befunnit sig. Släktingarna har oroat sig mycket, de har fått rycka ut snabbt pg att hon inte lagt på telefonluren mm.
[REDACTED] befinner sig för närvarande på Rosenlunds sjukhus sedan hon åter trillat. Hon hade dock inga synliga frakturer. Hon har behandlats för en urinvägsinfektion. De har även gjort en minnestest som visade att hennes minne sviktar (hade 6 p av 30p). Hon går nu med rollator och tillsyn. Har nedsatt balans, tappar lätt balansen bakåt. Har behov av lite handräckning när hon ska i och ur säng. Hon behöver för övrigt påputtning och hjälp med all personlig omvårdnad.

Behovsbedömning
På grund av nedsatt allmäntillstånd och fallrisk kan inte [REDACTED] återvända till sitt ordinarie boende, hennes omvårdnadsbehov kan bättre tillgodoses i äldreboende med heldygnssomsorg.

Kommunicering	Handläggare
Datum och underskrift	2003-01-31 [Signature] [REDACTED]



BESLUT om

ÄLDREOMSORG

HANDIKAPPOMSORG

(enligt socialtjänstlagen)

Beslut

Adress Blekingeg 15 B, [redacted]		Telefonnummer [redacted]
Namn, make/sammanboende		Personnummer
BESLUT och motivering		
Ansökan om bistånd enligt 4 kap 1§ Socialtjänstlagen i form av äldreboende med heldygnssomsorg <u>beviljas</u> . Hennes omvårdnadsbehov blir bättre tillgodosett.		
<input type="checkbox"/> Avgift för insatsen i avgiftsgrupp 6		
Detta beslut kan komma att omprövas om det sker väsentliga förändringar i de förhållanden som legat till grund för beslutet. Det kan ha till följd att den beslutade insatsen minskas eller dras in helt.		
Delgivning	Beslutande tjänsteman	
Datum	Underskrift	Datum Underskrift
Om Ni inte är nöjd med beslutet, kan Ni överklaga det. Hur man gör framgår av blanketten "Hur man överklagar", SoT 7515.	Ewhetsinet INGERIBERK Titel Namnförtydligande	



UTREDNING om

- ÄLDREOMSORG
 HANDIKAPPOMSORG

(enligt socialtjänstlagen)

Utredning

Adress	Telefonnummer
Namn, make/sammanboende	Personnummer
Namn <input checked="" type="checkbox"/> Anhörig <input type="checkbox"/> God man <input type="checkbox"/> Omb/föret	Telefonnummer, bostad
Gatuadress, postnr oc ort	Telefonnummer, arbete
Namn <input type="checkbox"/> Anhörig <input type="checkbox"/> God man <input type="checkbox"/> Omb/föret	Telefonnummer, bostad
Gatuadress, postnr oc ort	Telefonnummer, arbete

Utredning, sammanfattning och bedömning

Ansökan avser

Hemhjälp.

Aktuell situation

Hembesök 030123 med anledning av nyprövning av biståndsbeslut. [REDACTED] får hjälp med den dagliga livsföringen av sonen som har en anhöriganställning. LI har nedsatt rörelseförmåga i vänster sida. Släpar höger fot något vid förflyttningar. Uppger själv att ryggvärken ständigt försämras, att den ibland blir brännande och då nästan outhärdlig. Har svårt att sitta längre stunder, ligger mest. Går med käpp, tar promenader utomhus tillsammans med sonen emellanåt. LI har svårt att klara klädsel och hygien självständigt behöver assistans eller påputtning. Sköter byte av inkontinensskydd själv. Sonen lagar all mat, IL kan värma färdiga rätter i mikrougnen när sonen inte är hemma.

Social situation

Bor hos sonen vid Södra stationsområdet, bodde tidigare ensam vid Telefonplan. Talar och förstår en del svenska. Sonen hjälper med tolkning när det behövs. Kom till Sverige från Minsk i Vitryssland -94 där hon varit verksam som lärare i språk.

Hälsotillstånd

Spinalstinos, tablettbehandlad diabetes, hypertoni. Inkontinensproblem. Husläkare dr Koffler vid Liljeholmens vårdcentral tel: 681 75 000.

Behovsbedömning

LI är beroende av hjälp med personlig omvårdnad dagligen samt praktiska sysslor i hemmet pga. sin funktionsnedsättning. Trots att hon upplever att smärtorna förvärrats är hjälpbehovet oförändrat. Önskemål att sonen fortsätter som anhöriganställd. Målet är att LI ska känna trygghet med hjälpen för den dagliga livsföringen.

Kommunicering	Handläggare
<i>Marie Årouni</i>	<i>058/30 Marie Årouni</i>
Datum och underskrift	Datum och underskrift



BESLUT om

ÄLDREOMSORG

HANDIKAPPOMSORG

(enligt socialtjänstlagen)

Beslut

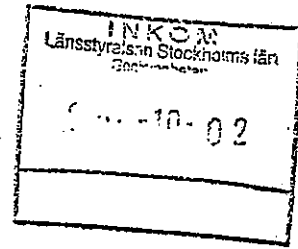
Adress	Telefonnummer
Namn, make/sammanboende	Personnummer
BESLUT och motivering	
<p>Att delavslå ansökan om bistånd enligt 4 kap 1§ Socialtjänstlagen med hemhjälpinsatser.</p> <p>Beviljade insatser: Morgonrutiner Avklädning vid sänggående Mathållning alla måltider Dusch 2 ggr/v Inköp 2 ggr/v Städning var 3:e v Tvätt 2 ggr/m Post och apoteksärende Ledsagning till läkare m.m.</p> <p>Nivå 5</p> <p>Hjälpbehovet beräknas till 14 tim/v</p> <p>Beslutet gäller from 030101 – 031231</p> <p>Ej beviljade insatser: Inköp 3 ggr/v Städ 2 –3 ggr/v Våttorkning av golv i kök, hall och badrum Hjälp med räkningar och andra ärenden Redovisning av kvitton och pengar. Personlig hygien Påklädning</p> <p>Motivering: Ovan ej beviljade insatser avslås då de redan ingår i beviljade insatser eller beviljas i mindre omfattning i enlighet med skälig levnadsnivå.</p>	
<input type="checkbox"/> Avgift för insatsen i avgiftsgrupp	
<p>Detta beslut kan komma att omprövas om det sker väsentliga förändringar i de förhållanden som legat till grund för beslutet. Det kan ha till följd att den beslutade insatsen minskas eller dras in helt.</p>	



BESLUT om

- ÄLDREOMSORG
 HANDIKAPPOMSORG

(enligt socialtjänstlagen)



Beslut

Adress		Telefonnummer
Namn, make/sammanboende		Personnummer
BESLUT och motivering		
<p>Att bevilja bistånd enligt 4 kap 1 § Socialtjänstlagen till hemhjälp med: Mathållning med sällskap Bäddning Tillsyn vid sänggående Dusch 1 gg/v Inköp 2 ggr/v Promenader 2 ggr/v. Städning var 3:e v Tvätt 2 ggr/m Trygghetslarm.</p> <p>Nivå 5</p> <p>Beslutet gäller from 020912 – 030930</p> <p>Att delavslå bistånd enligt 4 kap 1 § Socialtjänstlagen till promenader från Ledsagarservice.</p> <p>Motivering: Behovet av promenader kan tillgodoses inom ramen för hemtjänst genom utökade insatser.</p>		
<input type="checkbox"/> Avgift för insatsen i avgiftsgrupp		
<p>Detta beslut kan komma att omprövas om det sker väsentliga förändringar i de förhållanden som legat till grund för beslutet. Det kan ha till följd att den beslutade insatsen minskas eller dras in helt.</p>		
Delgivning	Beslutande tjänsteman	
Datum	020912	Underskrift
Om Ni inte är nöjd med beslutet, kan Ni överklaga det. Hur man gör framgår av blanketten "Hur man överklagar", SoT 7515.	bist handl	Namnförtydligande
Underskrift	Datum	



Beställare: Maria Gamla stan	Utförare: Magdalenagården
------------------------------	---------------------------

Kund

Sökande namn		Sökande personnummer
Medsökande namn		Medsökande personnummer
Adress	Postkod	Telefon
Anhörig/God man/ombud/företrädare		Telefon se ovan
Anhörig/god man/ombud/företrädare/		Telefon
Läkare/Läkaremottagning dr Ludwig Koffler, Liljeholmens vårdcentral		Telefon 681 75 000
Hemvårdschef		Telefon

Sammanfattning (social situation, boendemiljö, hälsa):

Nyprövning, LI, kallas _____, har ett oförändrat hjälpbehov för sin dagliga livsföring. Rörelsenedsättning i vänster sida pga spinalstenos med kronisk värk som ständigt förvärras, känns ibland som brännande smärtor. Svårt att sitta längre stund ligger mycket. Ena foten släpar något vid förflyttningar. Har ingen kraft i armen och handen, kan inte lyfta armen högt. LI önskar att sonen får fortsatt anhöriganställning. Har även anhöriganställning för pappan 26/v på Tanto hemtjänstenhet. LI talar och förstår lite svenska, sonen tolkar vid behov.

Vår för behövs hjälp:?

Nedsatt rörelseförmåga.

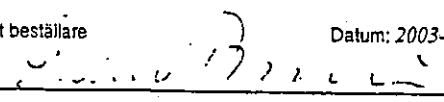
Vad skall göras ?:

Morgonrutiner
avklädning vid sänggående
mathållning alla måltider
dusch 2 ggr/v
inköp 2 ggr/v
städning var 3:e v
tvätt 2 ggr/m
post och apoteksärenden
ledsagning till läkare m.m.

Vad skall uppnås ?:

Hjälp att klara den dagliga livsföringen

Omsorgsnivå: II Beräknad insattid: 60 timmar/månad Beställningen gäller fr o m 030101 to m 031231

Underskrift beställare 	Datum: 2003-01-31	Beställningsbekräftelse	Datum: _____
Marie Arouni, Biståndshandläggare		Namnförtydligande _____	
Telefon: 12 519	Fax: 11 990	Telefon: _____	Fax: _____